

「日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き観察研究」 の研究資金と利益相反に関するメモランダム

2016年6月6日

JSH-MM-15研究代表者：飯田真介

JSH-MM-15研究事務局：柴山浩彦

研究計画書v1.0の 9. 研究管理の記載に研究資金および利益相反に関する十分な記載がございませんでした。次回改定時に計画書に追記させていただきますが、取り急ぎメモランダムを発行して周知させていただきます。
各施設のIRB申請時にご利用ください。

<利益相反(conflict of interest)と研究資金源>

利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人
の関係を含む。本研究は、一般社団法人日本血液学会の資金により実施する。
本研究の計画、実施、発表に関する意思決定は、本研究の実行委員会が行う。
一般社団法人日本血液学会は、本研究の実施にあたり、下記9社から寄付・支援
契約を結んでいる。

- ・ 中外製薬(株)
- ・ 協和発酵キリン(株)
- ・ ノバルティスファーマ(株)
- ・ セルジーン(株)
- ・ 旭化成ファーマ(株)
- ・ 小野薬品工業(株)
- ・ 塩野義製薬(株)
- ・ シャイアー・ジャパン(株)
- ・ 武田薬品工業(株)

しかし、現時点で保険承認されているどの会社の薬剤を使用しても、本研究
への登録および本研究での経過フォローが可能なことから、本研究は、患者さ
んを特定の会社の薬物治療に誘導し、患者さんに不利益をもたらすものではな
い。従って、本研究の実施、発表に関して可能性のある利益相反(conflict of
interest)はない。